

地対協コーナー

今号は、7月に開催した委員会の報告をお届けします。県地对協では、平成25年度に「終末期医療のあり方検討特別委員会」を発足させ、令和3年度から「ACP普及促進専門委員会」としてACPの普及活動に取り組んでいます。活動の中で、「ACPの手引き」を作成し、これまでの配布総数は22万部を超えています。今年度はいい看取りの日(11月30日)に一般県民や医療・介護従事者を対象とした研修会を開催し、医療介護に関する多職種からご自身が経験したACPについてお話しいただくことを企画しています。詳細は報告をご確認ください。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の各委員会活動などは、地対協ホームページ(<https://www.citaikyو.jp/>)へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

○第1回ACP普及促進専門委員会

日時：令和6年7月17日(水) 19時00分

場所：広島県医師会館 3階 302会議室/Web

委員長：本家 好文

ACPの手引き・私の心づもり一般用・申請者用のアンケートについて、現時点での取りまとめを報告した。また、令和6年11月30日(土)広島県医師会館ホールにて開催のACPに関する研修会に向けて、テーマやシンポジストなどについて協議した。

協議に入る前に、本委員会のこれまでの活動について簡単に説明した。

報告事項

(1) ACPの手引き・私の心づもりアンケート回答結果について

ACPの手引き・私の心づもりに関するアンケートについて、現時点までのとりまとめを報告した。

ACPの手引きを手にとられた方の年代については、70代が半数以上を占めていた。ACPの手引きの入手場所は、研修会で入手された方が1/3以上を占めていた。ACPを知ったきっかけは、「研修会に参加して」と回答された方が半数以上を占めていた。ACPの手引きを使用した感想には、96%以上の方から内容がわかりやすく理解できたと回答いただいた。

ACPの手引きアンケート(研修主催者・申請者用)について、ACPの手引きを知ったきっかけは、地対協ホームページが最も多かった。ACPの手引きの使用を決められた理由は、「手引きの内容がわかりやすかったから」が最も多く、「県民フォーラムなどでACPをPRするため、

初めて手に取る冊子としてボリューム感がちょうど良いと感じた」との意見をいただいた。一方で、改善点や要望について、私の心づもりのステップ3のあなたの代わりに意思決定をしてくれる方はいますか?の部分には、「代理意思決定者の氏名や続柄を記入する欄があればよい」との意見をいただいた。

委員より、「ACPの手引きを手にとられた方へのアンケート」について、性別を問う回答欄には「その他」を加えた方がいいのではないか、との意見があり、本手引きの改訂時に加えることとした。

協議事項

(1) ACPに関する研修会の開催について

ACPに関する研修会については、「人生会議の日」である11月30日(土)に開催するべく昨年度の委員会より検討を進めており、本家委員長らとの事前打合せにより作成した骨子案を報告した。

県民や医療・介護従事者・行政職員などを対象とし、対象者が参加しやすいよう14:00~16:30頃の開催を予定している。開催場所は、広島県医師会館ホール、研修会は2部構成とし、45分程度の基調講演後、1時間~1時間半程度のシンポジウムを予定している。

基調講演については、社会医療法人石川記念会 HITO病院 緩和ケア内科 部長 大坂 巖先生に、県民向けのわかりやすい内容でお話しいただくこととした。

シンポジウムについては、ACPを通じて患者が残していきたいと話されたものや看取りを通して後世に伝えることができたものなど、医療・介護関係者から経験をお話しいただくこと

で、今一度ACPの効果を専門職、県民に共有していく内容とした。また、落久保委員に座長を引き受けていただき、4人による講演を予定している。

シンポジストについては、さまざまな立場からのご経験をお話いただくため、緩和ケア病棟の勤務医として沖政盛治委員、在宅医として丸山典良委員、訪問看護師として道法和恵委員、ケアマネジャーとして越部恵美委員より講演いただくこととなった。委員からは、「地域によって、社会資源や訪問診療などの実情が違うため、患者さんの希望を全て実現させることが困難であり、そういった現状もあることをお話ししたい」との意見があった。

シンポジウム後の30分の質疑応答は、来場者を含め、上記シンポジストと大坂巖先生との意見交換の場とすることとした。

広報については、広島県医師会速報への掲載、広島県や広島市においてプレスリリースやSNSなどへ掲載いただく他、看護協会（訪問看護ス

テーション）、薬剤師会、介護支援専門員協会などの関連職種団体、がん診療連携拠点病院（相談支援センター）などを通じて患者や家族に対しての周知、研修会を録画してホームページに期間限定公開する方法などを提案した。また、チラシの作成も検討することとした。

委員より、研修テーマは、「ACPをしていないと困るという切り口より、人生会議をすることでより豊かな人生を送れるといった切り口が良い」との意見をいただいた。

その他

広島県地域共生社会推進課から昨年度のACP実践事例セミナーおよびACP普及推進員活動報告について説明があった他、丸山委員より千葉大学予防医学センターの河口謙二郎先生が書かれた論文「介護福祉専門職のACPファシリテーターにおけるACP実践の阻害要因」について説明があった。

県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳Ver.7」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳Ver.3」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- 心筋梗塞・心不全手帳の使い方 ご本人・ご家族用
- 前立腺がん 手帳 地域連携パス
- 甲状腺がん 手帳 地域連携パス
- 大腸がん 手帳 地域連携パス

- 大腸がん内視鏡治療後患者用手帳
- 胃がん 手帳 地域連携パス
- 胃がん内視鏡治療後患者用手帳

など

【パンフレット・マニュアル】

- ACPの手引き 「豊かな人生とともに…」

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp



乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.7」



肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.3」



心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス



心筋梗塞・心不全手帳の使い方 ご本人・ご家族用



前立腺がん 手帳 地域連携パス



甲状腺がん 手帳 地域連携パス



大腸がん 手帳 地域連携パス



大腸がん内視鏡治療後患者用手帳



胃がん 手帳 地域連携パス



胃がん内視鏡治療後患者用手帳



ACPの手引き 豊かな人生とともに

など

※一部ホームページにて公開中